

# 「地域づくりセミナー2025」開催レポート

## 2025年11月25日／会場：長岡グランドホテル 参加者50名

### 第1部 2025年度市民活動団体助成事業中間報告会

2025年度市民活動助成事業に採択された団体の役職員の皆さんを主な対象として、「地域づくりセミナー2025」を開催しました。

セミナーは2部形式で行い、第1部では、助成団体からの事業の中間報告を受け、選考委員からの質疑応答を行い、進捗状況などを確認しました。また、第2部ではNPO法、寄付制度、NPO会計基準などの制度づくりを主導された松原明さんによるグループワークを交えた研修会を開催しました。最後に、参加者を交えた懇親会も開催しました。

2025年度の採択団体のうち5団体から中間報告を行っていただきました。

#### ◆NPO法人サンフライ特

新潟市西区で、フリースクールを開設している同団体は、耕作放棄地を活用した有機米栽培を助成事業でスタート。普段の子供たちは、朝起きることが苦手、体力不足ということでしたが、実際には、朝7時からの農作業への参加や、野外作業は苦手でもお米販売ではパッケージ作成など積極的に関わる姿勢などが報告されました。質疑応答で、持続可能な取り組みとなるためには、ストーリー性を持った戦略的な販売計画の必要性を感じているとの回答がありました。

#### ◆NPO法人Palette

糸魚川市で産前産後ケアに取り組む同団体は、中古住宅をリフォームして、産後ケア施設「Casa La Madre」を開設。安全と快適性を高めるため施設改修として助成金を活用しました。また、糸魚川市の「ふるさと納税」返礼品として、「バケーション型産後ケア」を準備していることが報告されました。利用者アンケートへの対応状況について質問があり、苦情はなく洗面所の子供用踏み台の設置などの要望に細やかに対応しているとの回答がありました。

#### ◆NPO法人マミーズ・ネット

子育て支援を上越市内で、取り組まれている同団体は、2024年から「ベビーシッター事業」を開始。しかし、事業を継続するうえで、利用価格、シッターとなる人材不足、事務量の多さなどの課題があり、改善するためにアンケート調査、シッター講座、企業への広報などを助成金で取り組みました。その結果、40人ほどにシッター登録者は増加したものの、土日や夜間に対応できる人材が不足しているなどの課題が質疑応答で確認されました。

#### ◆NPO法人あおぞら

25年近く新潟市江南区で障害者支援事業に取り組まれている同団体は、活動エリアおよび事業の拡大、利用者や職員の増加によって、昨年に続き「自立分散型組織開発」に着手。ミッション・ビジョン・バリューの明確化と人事評価制度の導入を助成事業で取り組みました。質疑応答では、策定されたものを、これから全職員に共有していくことの難しさに触れながら、丁寧なプロセスに心がけてほしいという要望がありました。

#### ◆フードバンクみつけ

5年前から見附市で、フードバンク事業を開始した同団体は、事務所機能がないために様々な課題がありました。今回、見附市から施設の無償貸与がされることをうけ、事務所整備のための物品購入と、NPO法人化といった組織基盤強化に取り組みました。拠点ができたことから、子供たちの学習支援や制服リサイクル等新たな事業展開につながっているとの報告も行われました。質疑応答では、今後の中長期ビジョンの策定について確認が行われました。



## 第2部 研修会「協働を深め社会課題解決を進めるためのスキルとは」

3年降りに、講師を招いての研修会を開催しました。講師の松原明さんは、全国各地で新しい時代のNPOマネジメント技法である「協力のテクノロジー」に基づく、講演会やワークショップなどを行っています。2024年には、この技術を教えるオンラインスクール「協力アカデミー」を開校されるなどご活躍です。松原さんは、価値観が多様化する現代において、異なる価値観・利害関心を持っている人々が協力していくためには、「相利(そうり)開発」という視点が必要だと話されていました。

これまでの「協力」は「交換」でした。「相手から何かをもらったら、何かを返す」という考え方です。でも、これから「協力」は「相利」です。「相利」とは、一つの目標達成に対して、参加する人たちの目的は皆異なっており、さらにそれぞれが異なる利益(相利)を得られることである、と解説されています。講義後、参加者は、5人1グループになり、「相利評価表」のフレームワークを活用して、「NPO」「行政職員」「町内会役員」「地域住民」「地元商店・企業」の役になって、ロールプレイを行いました。講義だけで理解するには難しい「相利」の考え方が、グループワークを通して、理解が深まっていった研修会でした。

### 参加者アンケートから見えたこと

当財団として本セミナーがどのように有益だったのか把握し、今後の助成事業に役立てるため、アンケートを実施しました。特に、「研修会」について、一部抜粋します。

- ・理解することが難しかったが、新たな視点を得られた。
- ・相利開発が目からウロコの衝撃的なお話をでした。
- ・相利ということの意味をはじめて知りました。まずは相手の問題に着目すること、そこから、と思います。
- ・他団体の方の活動を知れてよかったです。ワークもやり方として参考になりました。
- ・行きづまっている課題があり、困っていることがあります、解決のヒントになったので、とても参考になりました。



公益財団法人  
新潟ろうきん福祉財団